

目標達成計画

作成日: 令和 6年 3月 5日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	(8)	コロナ禍の面会中止から徐々に緩和し、現在は家族との面会は15分枠でロビーにて実施している(予約制)。家族同行の外出も予約にて月1回実施しているが、法人全体の規則として現在はそれ以上の実施はできず、馴染みの人との交流の機会は制限されている。	今後徐々に面会や外出の制約は緩和されると思われるが、その他にもご家族に手紙を書く、ご家族から写真を送っていただくなど、できることで支援をする。	面会条件緩和に合わせてご家族へ都度通達し、直接談話する機会を提供する。またご家族への暑中見舞いやクリスマスカードを作るなど、レクリエーションに取り入れるよう努める。	12ヶ月
2	(18)	玄関先での外気浴や、施設内での体操や歩行練習にて、閉塞感や運動不足の解消を図っているが、人員不足や入居者の介護度が上がっており、外出の機会が限られている。	感染症予防対策を行った上で、玄関先での日光浴、近隣への散歩・外気浴・花見などの機会を作る。	入居者様の体調や気候、職員の人員に配慮して、少人数ずつでも散歩や日光浴ができるように工夫し、気分転換や季節を感じられるように努める。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。